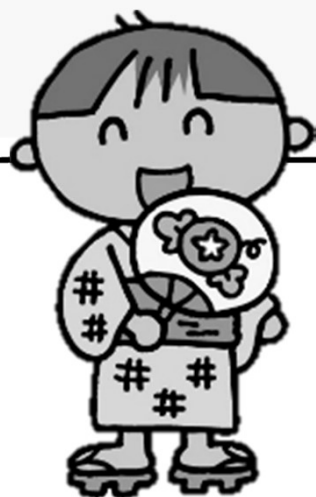


令和2年度始良市特別支援教育担当者研修会

これで大丈夫！
WISC-Ⅲ知能検査の分析が
今日からできる！



子どもを支援するために必要な情報

- 家族構成・家族状況
- 生育歴・教育歴
- 学級での様子
- 学力
- 行動・社会性
- コミュニケーション
- 諸検査結果
- 運動・基本的な生活習慣・その他
- 医学面
- 興味・関心, 強い面
- 校内(園内)支援体制

本日のゴールと内容

- ① WISC-Ⅲ検査結果をおおまかに読み取れる！
- ② 授業に生かす支援方法を考えられる！

- 1 WISC-Ⅲとはそもそも何ぞや？
- 2 プロフィール表を見てみましょう
- 3 検査結果をどう読み取る？
- 4 支援方法を考えよう！
- 5 練習してみよう！

1 WISC-IIIとはそもそも何ぞや？

ウェクスラーさんが開発した知能検査の改訂第3版

アメリカ原版1991年，日本語版1998年

適応年齢：5歳0カ月～16歳11カ月

言語性検査6種類，動作性検査7種類

WISC-Ⅲで測る知能

目的的行動し、合理的に思考し、
能率的にその環境を処理しうる総合
的・全体的能力。

上野一彦ら「軽度発達障害の心理アセスメント」p8

WISC-Ⅲで分かること

1. 同年齢でどのくらいの位置にいるのか？
2. 本人の中で、得意な力と苦手な力は何か？

知能検査を行う意味

- 子どもが苦戦していること、解決したいことに気付いて、支援することができる。
- 子どもの学び方（得意な力と苦手な力）を知り、それに合わせて教えるための資料になる（合理的配慮）。
- 自己理解を促し、自分に合った進路選択につなげることができる。

※ 知能検査で分かることは一部である。

氏名:	A	男・女	男	利き手:	右
学校名:	〇小学校		学年:	5	
検査理由:	学習面への適切な指導・支援のため				

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

下位検査	粗点	評価点(SS)					テスト年齢
1 絵画完成	21		10		10		11-6
2 知識	10	5		5			8-6
3 符号	36		6			6	9-6
4 類似	12	8		8			9-10
5 絵画配列	40		10		10		11-10
6 算数	15	7				7	9-6
7 積木模様	42		9		9		10-10
8 単語	24	9		9			10-10
9 組合せ	30		10		10		11-2
10 理解	14	8		8			9-2
11 (記号探し)	19		6			6	9-6
12 (数唱)	11	6				6	7-10
13 (迷路)	10		5				6-10

	評価点合計	IQ/ 群指数	パーセン タイル	信頼区間	
				90%	95%
言語性	37	84	14	79-91	78-92
動作性	45	93	32	87-101	85-102
全検査	82	87	19	82-93	81-94
言語理解	30	85	16	79-96	77-97
知覚統合	39	98	45	91-106	90-107
注意記憶	13	79	8	74-89	73-90
処理速度	12	78	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

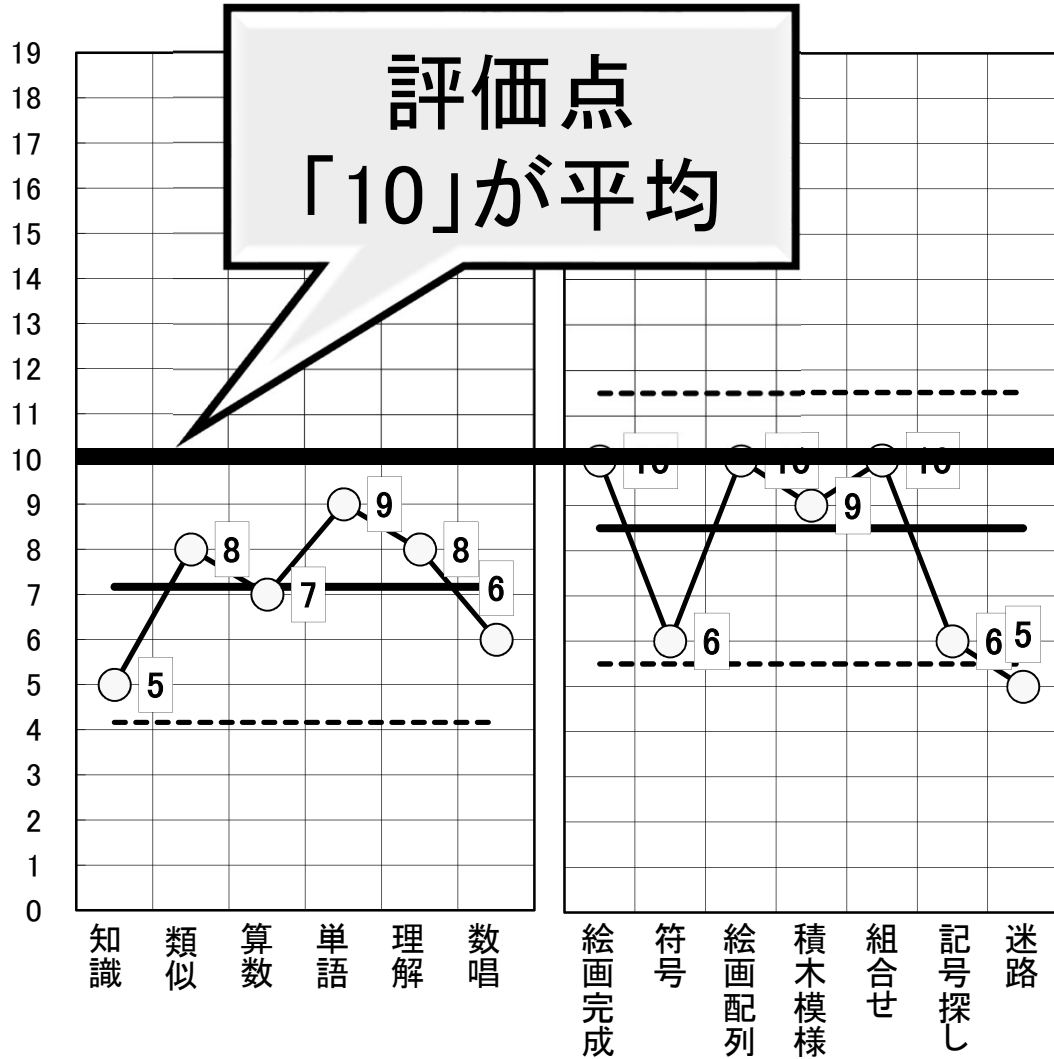
82
全検査

	5%	15%	有意差の評価		5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				

下位検査評価点

言語性検査

動作性検査

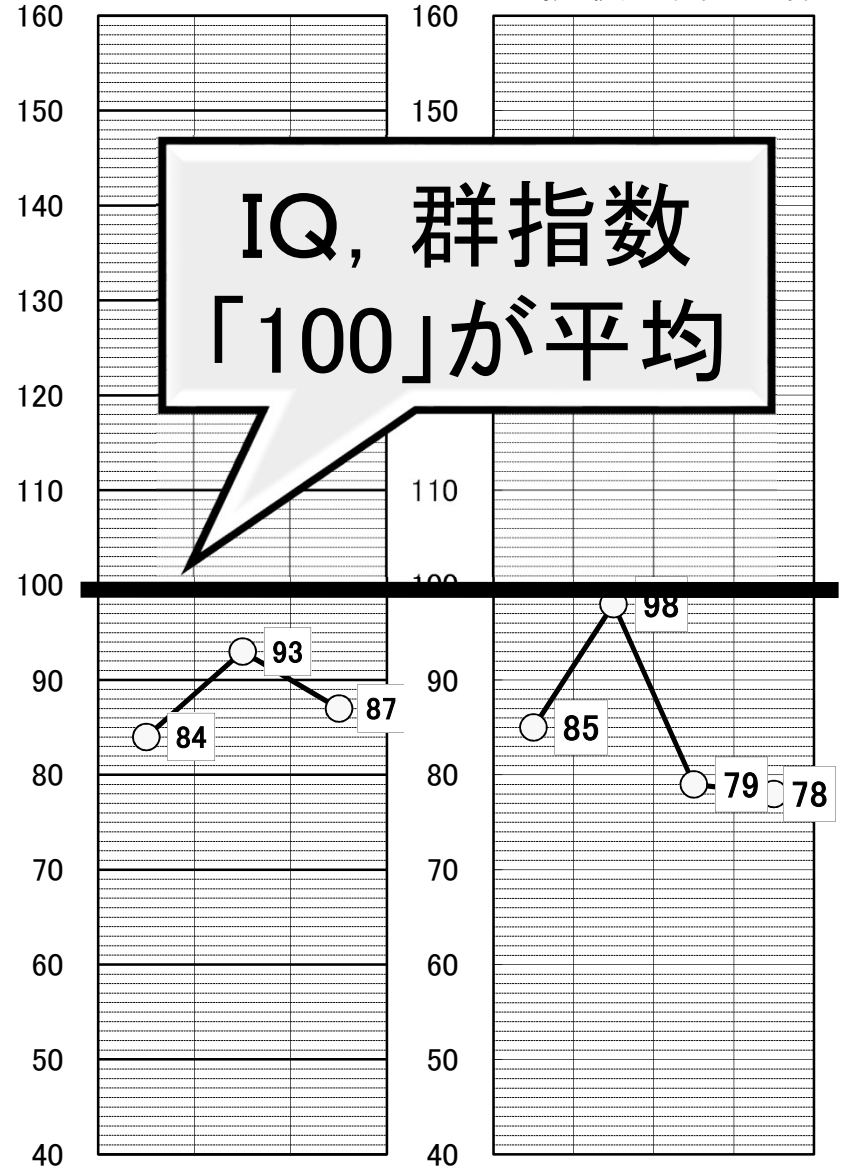


IQ

群指数

言語性 動作性 全検査
VIQ PIQ FIQ

言語 知覚 注意 処理
理解 統合 記憶 速度

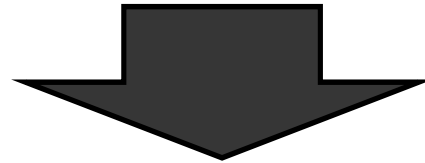


知識

類似

単語

理解



言語理解 (VC)

言語的な情報や、自分自身がもつ言語的な知識を、状況に合わせて応用できる能力

「言語理解」が弱い子ども 基礎的な困難

◎ ことばを理解することが苦手。

◎ ことばで表現することが苦手。

◎ ことばを使って考えることが苦手。

言語理解が弱い子どもの姿(例)

学習面

- 指示の理解が難しい。
- 音読はできても内容を理解していない。
- 作文を書く際, 内容的に乏しい。

行動面・社会性

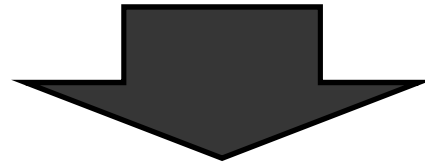
- 日時や場所, 関係性などの理解と表現が不正確でトラブルになる。
- 会話に参加することが難しい。

言語理解が弱い子どもへの支援(例)

- 言葉での指示は、できるだけ分かりやすく、ゆっくり伝える。
- 絵や図、モデル、文字など、視覚的な手掛かりを用いる。

算数

数唱



注意記憶 (FD)

注意を持続させて、聴覚的な情報を正確に取り込み、記憶する能力。
数処理能力。

注意記憶が弱い子ども 基礎的な困難

◎ ことばや数をすぐに覚えることが苦手。

◎ 数の操作が苦手。

◎ 注意の集中や持続が困難。

注意記憶が弱い子どもの姿(例)

学習面

- 聞き間違いがある。聞いたことをすぐ忘れる。
- 簡単な計算が暗算でできない。
- 特殊音節を書き誤る。

行動面・社会性

- ちょっとした雑音でも注意がそれやすい。
- 約束を覚えていられずトラブルが生じやすい。
- 相手の話を、最後まで集中して聞いていられない。

注意記憶が弱い子どもへの支援(例)

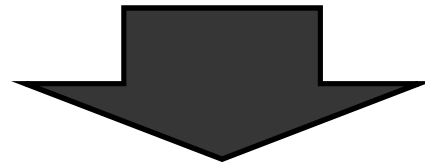
- 注意を促してから話し掛ける。
- 言葉での指示は、短く、具体的に伝える。
- 絵や図、文字、モデルなど視覚的な手掛かりを用いる。
- メモを活用する。

絵画完成

絵画配列

組合せ

積木模様



知覚統合 (PO)

視覚的な情報を取り込み，各部分を相互に関連づけ，全体として意味あるものへまとめ上げる能力

知覚統合が弱い子ども 基礎的な困難

◎ 目で見ただけで理解することが苦手。

◎ 動作で表現することが苦手。

◎ 物事を空間的・総合的に処理することが
苦手。

知覚統合が弱い子どもの姿(例)

学習面

- 形を弁別したり構成したりすることが難しい。
- 表やグラフにまとめることが難しい。
- 話している内容がまとまりにくい。

行動面・社会性

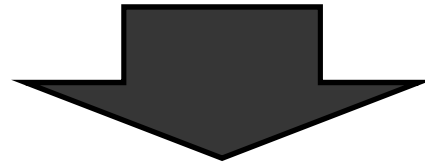
- 場面や状況, 相手の表情を理解できず, その場にあった行動ができない。
- 持ち物の整理や分類がしにくい。
- 位置や方向, 場所などを間違える。

知覚統合が弱い子どもへの支援(例)

- ことばで一つ一つ丁寧に説明する。
- 整理する場所を, 色を付けるなどして明確に示す。
- 位置や方向は, ことばで明確に伝える。

符号

記号探し



処理速度 (PS)

視覚的な情報を, 事務的に数多く, 正確に処理していく能力

処理速度が弱い子ども 基礎的な困難

◎ 目で見ただけをすぐに覚えることが苦手。

◎ 形を正確にとらえることが苦手。

◎ 物事を素早く処理することが苦手。

処理速度が弱い子どもの姿(例)

学習面

- 書くのが遅い。板書が終わらない。
- 音読や計算が遅い。
- 鉛筆等の用具の使い方がぎこちない。

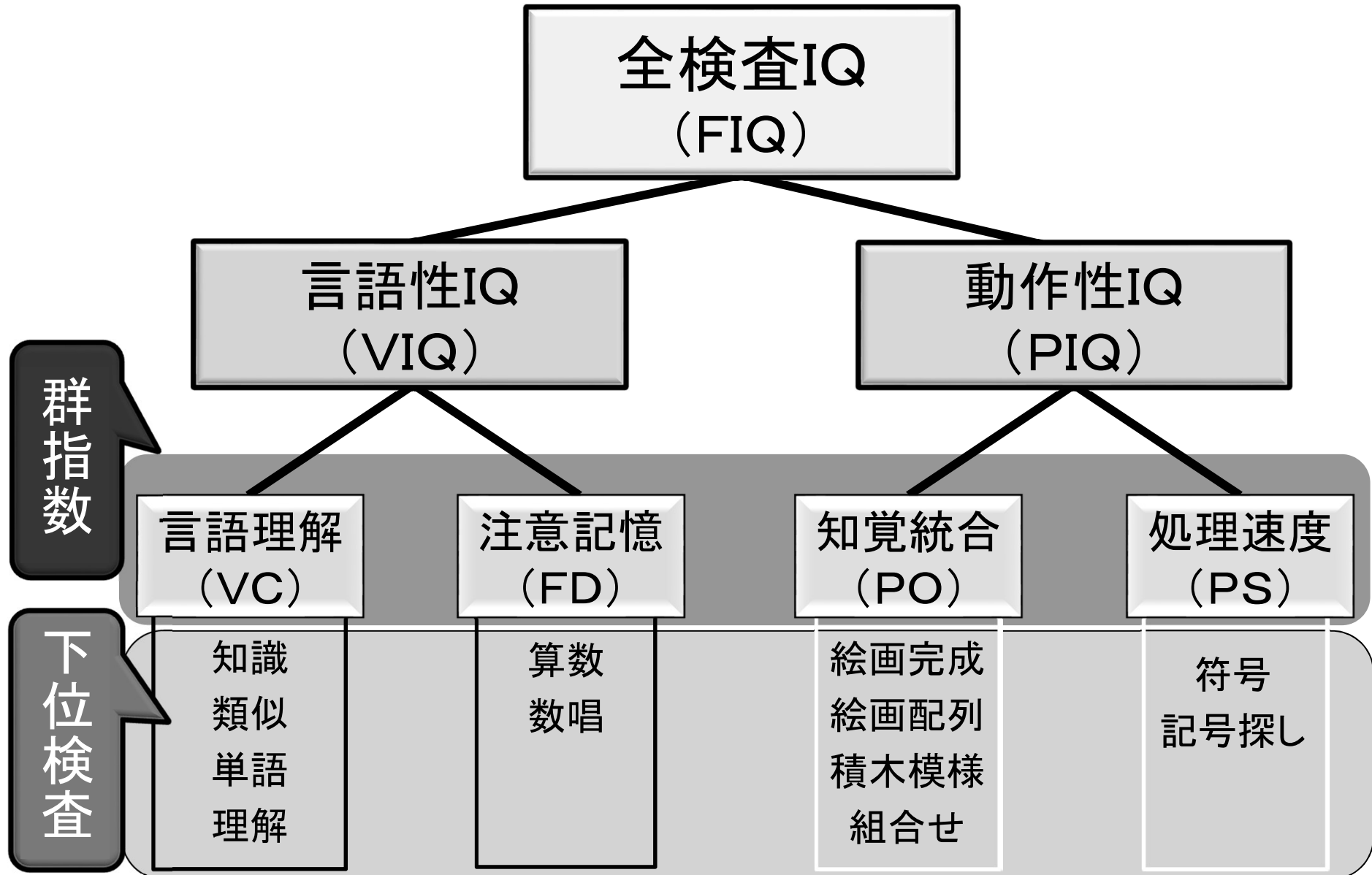
行動面・社会性

- 授業の準備が間に合わない。
- 授業時間内に課題が終わらない。
- 活動のペースがゆっくりで、同学年集団の遊びについていけない。

処理速度が弱い子どもへの支援(例)

- 視写する量を減らす。
- 課題に費やす時間を十分にとる。
- 使いやすい筆記用具を準備する。
- 準備物などのチェックリスト, 活動の手順表を作る。

WISC-IIIの構成



全検査IQ

全体的な知的水準

言語性IQ

言語的な能力に関する知的水準

動作性IQ

視覚的・空間的な情報を扱う能力,
非言語的な能力に関する知的水準

WISC-IIIは、この順番で 読み取る！

手順①

全検査IQ

手順②

言語性IQ, 動作性IQ

手順③

群指数

おおまかな分析から、
どんどん細かい分析に

検査者:

氏名:	男・女	男	利き手:	右
学校:	学校	学校	学校	5
検査日:	検査日	検査日	検査日	検査日



手順①

**最初に、全検査IQを
見ます！**

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

下位検査	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1 絵画完成													
2 知識													
3 符号													
4 類似	12	8		8									
5 絵画配列	40		10		10								
6 算数	15	7				7							
7 積木模様	42		9		9								
8 単語	24	9		9									
9 組合せ	30		10		10								
10 理解	14	8		8									
11 (記号探し)	19		6			6							
12 (数唱)	11	6				6							
13 (迷路)	10		5										

	評価点合計	IQ/ 群指数	パーセン タイル	信頼区間	
				90%	95%
言語性	37	84	14	79-91	78-92
動作性	45	93	32	87-101	85-102
全検査	82	87	19	82-93	81-94
言語理解	30	85	16	79-96	77-97
知覚統合	39	98	45	91-106	90-107
注意記憶	13	79	8	74-89	73-90
処理速度	12	78	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差の評価		5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				

検査者: ○○

氏名:	A	男・女	男	利き手:	右
学校名:	○小学校		学年:	5	
検査理由:	学習面への適切な指導・支援のため				

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

全般的な知的発達の水準を確認する。

1
2
3
4

5 絵画配列	40		10		10		11-10
6 算数	15	7				7	9-6
7 積木模様	42		9		9		10-10
8 単語	24	9		9			10-10
9 組合せ	30		10		10		11-2
10 理解	14	8		8			9-2
11 (記号探し)	19		6			6	9-6
12 (数唱)	11	6				6	7-10
13 (迷路)	10		5				6-10

項目	点合	IQ/ 群指数	パーセン タイル	信頼区間	
				90%	95%
言語性	37		14	79-91	78-92
動作性	45		32	87-101	85-102
全検査	82	87	19	82-93	81-94
言語理解	30	85	16	79-96	77-97
知覚統合	39	88	45	91-106	90-107
注意記憶	13	75	8	74-89	73-90
処理速度	12	78	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差の評価		5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				

知能水準の分類

I Q	分類	理論上の割合(%)
130以上	非常に優れている	2.2
120~129	優れている	6.7
110~119	平均の上	16.1
90~109	平均	50.0
80~89	平均の下	16.1
70~79	境界線	6.7
69以下	非常に低い	2.2



知的に発達の遅れがある可能性

氏名	A	男・女	男	利き手:	右
学校	○小学校		学年:	5	
検査理由	学習面への適切な指導・支援のため				



全検査IQ
 Aくんの場合)「平均の下」
 の域にある。

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

1
2
3
4
5
6	算数	15	7	7	9	6
7	積木模様	42	9	9	10	10
8	単語	24	9	9	10	10
9	組合せ	30	10	10	11	2
10	理解	14	8	8	9	2
11	(記号探し)	19	6	6	9	6
12	(数唱)	11	6	6	7	10
13	(迷路)	10	5	5	6	10

検査項目	IQ/群指数	パーセンタイル	信頼区間	
			90%	95%
全検査	82	19	82-93	81-94
言語理解	30	16	79-96	77-97
知覚統合	39	45	91-106	90-107
注意記憶	13	8	74-89	73-90
処理速度	12	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差の評価		5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				

検査者:

〇〇

氏名	A	男・女	男	利き手:	右
学校	〇小学校		学年:	5	
検査理由	学習面への適切な指導・支援のため				

パーセンタイル順位
 Aくんの場合)100人中, 下位から19番目であることを示している。

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

下位							
1 絵							
2 知							
3 符							
4 類							
5 絵							
6 算	数	15	7		7		9-6
7 積	木模様	42		9	9		10-10
8 単	語	24	9		9		10-10
9 組	合せ	30		10	10		11-2
10 理	解	14	8		8		9-2
11 (記	号探)	19		6		6	9-6
12 (数	唱)	11	6			6	7-10
13 (迷	路)	10		5			6-10

IQ	差指	パーセン タイル	信頼区間	90%	95%
			79-91	78-92	
			97-101	85-102	
全検査	82	87	19	82-93	81-94
言語理解	30	85	16	79-96	77-97
知覚統合	39	98		91-106	90-107
注意記憶	13	79	8	74-89	73-90
処理速度	12	78	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差の評価	5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=
言語理解	=	=	処理速度			

氏名	A	男・女	男	利き手:	右
学校	○小学校		学年:	5	
検査理由	学習面への適切な指導・支援のため				

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

信頼区間(90%)

Aくんの場合)全検査IQが82-93の範囲に存在する確率は、90%という意味。

1							
2							
3							
4							
5							
6							
7	積木模倣	42	9	9	9	10-10	
8	単語	24	9	9	9	10-10	
9	組合せ	30	10	10	10	11-2	
10	理解	14	8	8	8	9-2	
11	(記号探し)	19	6	6	6	9-6	
12	(数唱)	11	6	6	6	7-10	
13	(迷路)	10	5	5	5	6-10	

IQ/パーセン指数	パーセン	タイトル	信頼区間
			90% 95%
37	14	全検査	82-93
45	32	言語理解	79-96
82	19	知覚統合	71-94
30	16	注意記憶	77-97
39	45	処理速度	90-107
13	8		73-90
12	7		73-92

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差の評価	5%	15%	
言語性	=	<	動作性	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度			



Aくんの全検査IQの分析

手順①

全検査IQは, 87

=「平均の下」の域

=知的に発達の遅れはなさそう

(IQ69以下にない)。

パーセンタイル順位が, 19

=100人いたら, 後ろに19人いる。

90%信頼区間が, 82-93

=10回やったら, 9回はこの範囲に入る。

手順① 全般的な知的発達水準

全検査IQ = 87 知能水準の分類 = 平均の下 (左下の表から選ぶ)

パーセンタイル順位 = 19 90%信頼区間 = 82 ~ 93

※ 知的発達に遅れがある可能性は ある or ない (どちらかを○で囲む)

手順② 言語性IQと動作性IQ

言語性IQ = 知能水準の分類 = (左下の表から選ぶ)

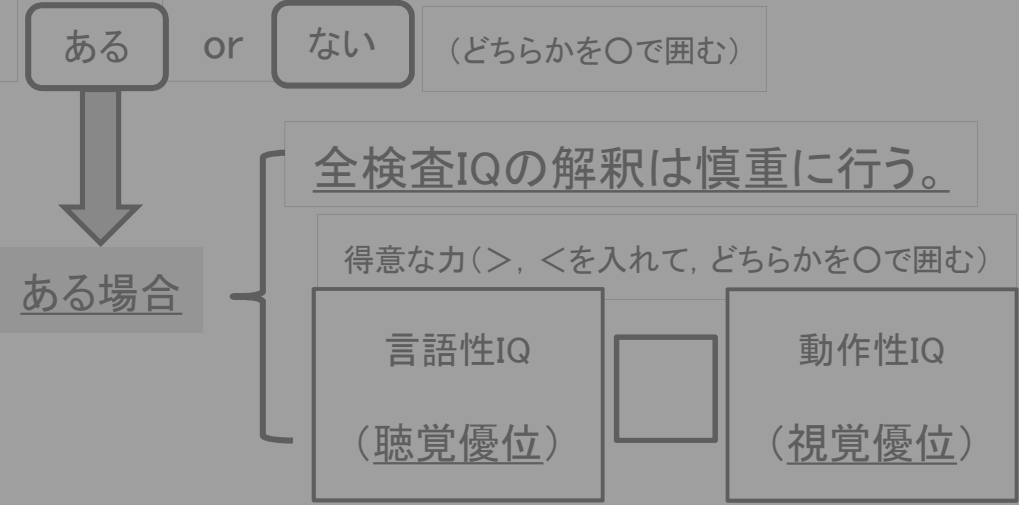
パーセンタイル順位 = 90%信頼区間 = ~

動作性IQ = 知能水準の分類 = (左下の表から選ぶ)

パーセンタイル順位 = 90%信頼区間 = ~

※ 言語性IQと動作性IQの有意差は ある or ない (どちらかを○で囲む)

IQ	分類
130以上	非常に優れている
120~129	優れている
110~119	平均の上
90~109	平均
80~89	平均の下
70~79	境界線
69以下	非常に低い



検査者:

氏名:	男・女	男	利き手:	右
学校:	学校	学		5
検査:				

次に、言語性IQと
動作性IQを見ます！

手順②

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

4 類推	12	8	8	8	8	8
5 絵画配列	40		10		10	
6 算数	15	7			7	9-6
7 積木模様	42		9		9	10-10
8 単語	24	9		9		10-10
9 組合せ	30		10		10	11-2
10 理解	14	8		8		9-2
11 (記号探し)	19		6		6	9-6
12 (数唱)	11	6			6	7-10
13 (迷路)	10		5			6-10

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

中央値 9-6

	評価点合計	IQ/ 群指数	パーセン タイル	信頼区間	
				90%	95%
言語性	37	84	14	79-91	78-92
動作性	45	93	32	87-101	85-102
全検査	82	87	19	82-93	81-94
言語理解	30	85	16	79-96	77-97
知覚統合	39	98	45	91-106	90-107
注意記憶	13	79	8	74-89	73-90
処理速度	12	78	7	73-92	71-93

	5%	15%	有意差の評価		5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				



Aくんの言語性IQの分析

言語性IQは, 84
=「平均の下」の域

パーセンタイル順位が, 14
=100人いたら, 後ろに14人いる。

90%信頼区間が, 79-91
=10回やったら, 9回はこの値の範囲に入る。



Aくんの動作性IQの分析

動作性IQは, 93
=「平均」の域

パーセンタイル順位が, 32
=100人いたら, 後ろに32人いる。

90%信頼区間が, 87-101
=10回やったら, 9回はこの値の範囲に入る。

5%, 15%の有意差とは

差があるとみなしてもよいかどうか



あり:「 $>$ 」「 $<$ 」
なし:「 $=$ 」

5%水準(15%水準)は, 真の差を示している確率が, 100のうち95(85)であることを意味している。

※ 「1理論編」表5-4(p.44)を参照

氏
学校
検査理

5%, 15%の有意差とは

1つ又は2つ「<」や「>」が付いていると、「得意」「苦手」と言える。
「==」では、「得意」「苦手」と言えない！

8 単語	24	9		9				10-10
9 組合せ	30		10		10			11-2
10 理解	14	8		8				9-2
11 (記号探し)	19		6				6	9-6
12 (数唱)	11	6				6		7-10
13 (迷路)	10		5					6-10

言語性	16		79-96	77-97	
知覚統合	45		91-106	90-107	
注意記憶	79	8	74-89	73-90	
処理速度	12	78	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差	の評価	5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				

氏名:	A	男・女	男	利き手:	右
学校名:	〇小学校		学年		
検査理由:	学習面への適切な指導・支援のため				

検査者:



Aくんの場合)
言語性 < 動作性
 「非言語的な能力」が得意で、「言語的な能力」が苦手ということ
 = **視覚優位である可能性**

下位検査
1 絵画完成
2 知識
3 符号
4 類似
5 絵画配列
6 算数
7 積木模様
8 単語
9 組合せ
10 理解
11 (記号探し)
12 (数唱)
13 (迷路)

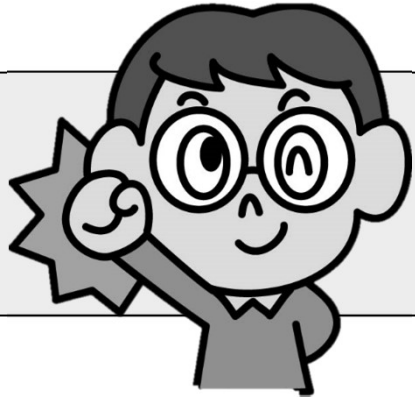
14	8	6	6	6	6	9-2
19		6			6	9-6
11	6			6		7-10
10		5				6-10

注意記憶	8	74-89	73-90	
処理速度	78	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差	の評価	5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				



ここに注意！！

例えば、 全検査IQ (FIQ)

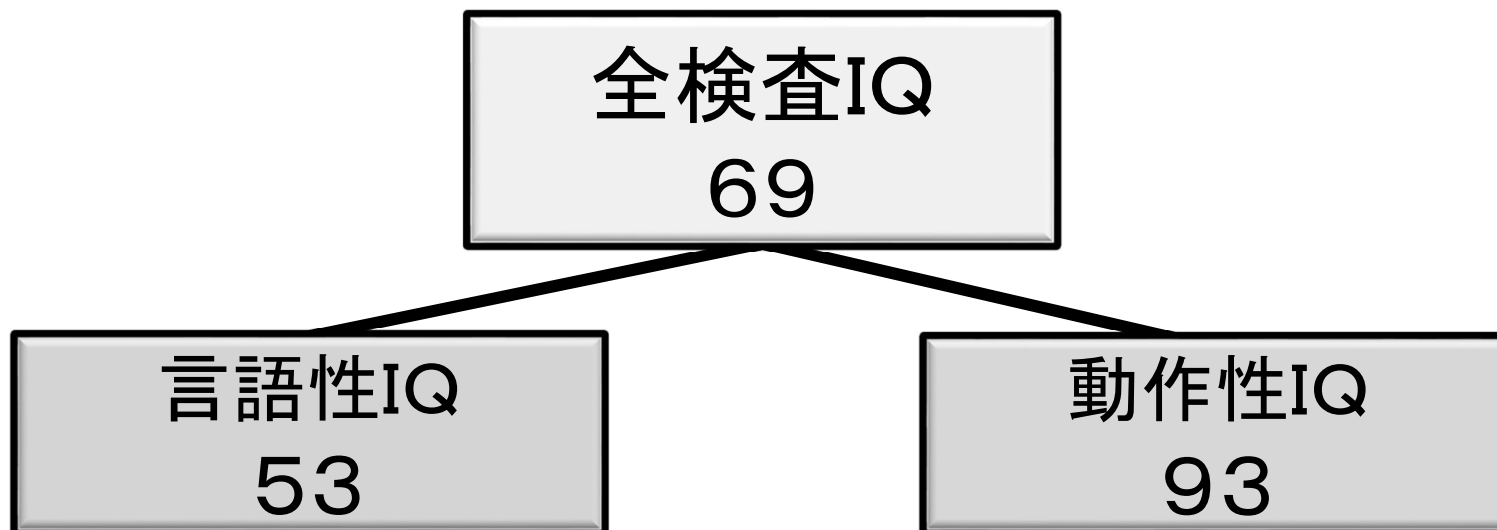
69



知的水準は「知的障害」の域

と捉えたいところではあるが...

言語性IQと動作性IQに有意差があるとき



本当に「知的障害」の域と言えるのか？

【全検査IQが「知的障害」の域かどうかは慎重に解釈する必要がある】と記述する！

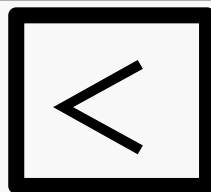


Aくんの言語性IQと 動作性IQの分析

手順②

全検査IQは, 87
=「平均の下」の域

言語性IQ: 84



動作性IQ: 93

=視覚優位

全検査IQが「平均の下」の域かどうかは
慎重に解釈する必要がある。

手順① 全般的な知的発達水準

全検査IQ = 87 知能水準の分類 = (左下の表から選ぶ) 平均の下

パーセンタイル順位 = 19 90%信頼区間 = 82 ~ 93

※ 知的発達に遅れがある可能性は ある or ない (どちらかを○で囲む)

手順② 言語性IQと動作性IQ

言語性IQ = 84 知能水準の分類 = (左下の表から選ぶ) 平均の下

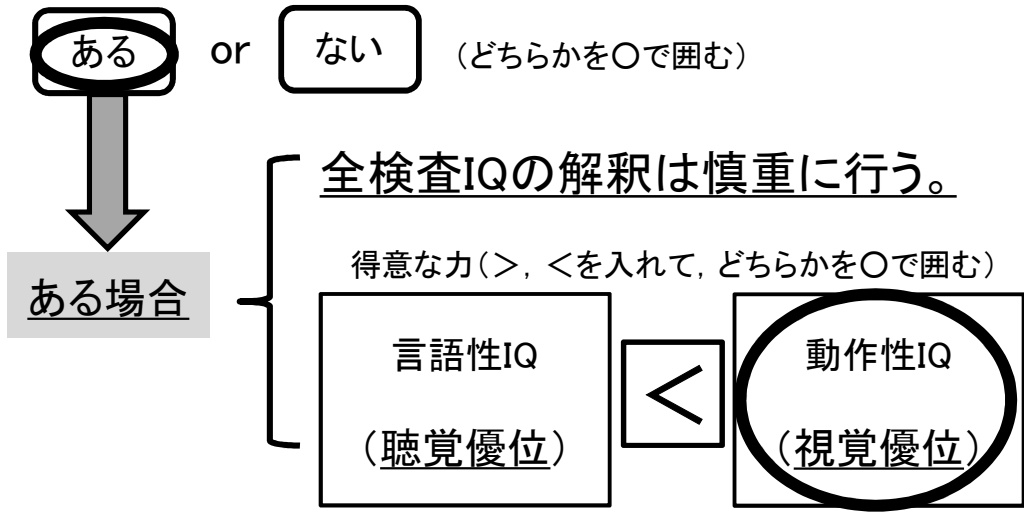
パーセンタイル順位 = 14 90%信頼区間 = 79 ~ 91

動作性IQ = 93 知能水準の分類 = (左下の表から選ぶ) 平均

パーセンタイル順位 = 32 90%信頼区間 = 87 ~ 101

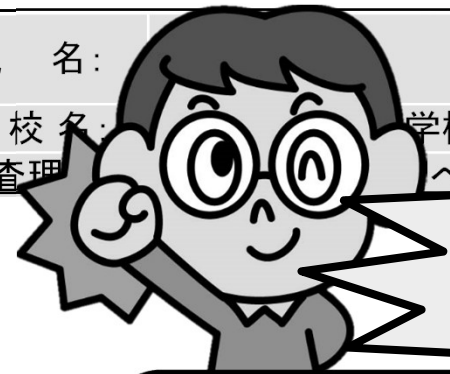
※ 言語性IQと動作性IQの有意差は ある or ない (どちらかを○で囲む)

IQ	分類
130以上	非常に優れている
120~129	優れている
110~119	平均の上
90~109	平均
80~89	平均の下
70~79	境界線
69以下	非常に低い



検査者:

氏名:	男・女	男	利き手:	右
学校名:	学校	学		5
検査理由:	へ			



手順③

最後に、群指数を見ます！

検査日	25	年	8	月	24	日
生年月日	13	年	10	月	21	日
年齢	11	年	10	月	3	日
補正年齢		年		月		

下位検査	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1 絵画完成													
2 知識													
3 符号													
4 類似													
5 絵画配列	40		10		10								
6 算数	15	7				7				9-6			
7 積木模様	42		9		9					10-10			
8 単語	24	9			9					10-10			
9 組合せ	30		10		10					11-2			
10 理解	14	8			8					9-2			
11 (記号探し)	19		6				6			9-6			
12 (数唱)	11	6					6			7-10			
13 (迷路)	10		5							6-10			

	面点合計	IQ/ 群指数	パーセン タイル	信頼区間	
				90%	95%
言語性	37	84	14	79-91	78-92
動作性	45	93	32	87-101	85-102
全検査	82	87	19	82-93	81-94
言語理解	30	85	16	79-96	77-97
知覚統合	39	98	45	91-106	90-107
注意記憶	13	79	8	74-89	73-90
処理速度	12	78	7	73-92	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差の評価		5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				

氏名:	A	男・女	男	利き手:	右
学校名:	〇小学校		学年:	5	
検査理由:	学習面への適切な指導・支援のため				

検査者:

検査日	25	年	8	月	24	日
				月	21	日
				月	3	日
				月		

4つの群指数で、「<」「>」が付いているのは、どこかな？
 「得意」「苦手」を探していきます！
 「==」は、「得意」「苦手」まで言えない！

下								
1	総							
2	知							
3	符							
4	類							
5	総							
6	算							
7	積							
8	単							
9	組合せ	30		10		10		11-2
10	理解	14	8		8			9-2
11	(記号探し)	19		6			6	9-6
12	(数唱)	11	6				6	7-10
13	(迷路)	10		5				6-10

信頼区間	
%	95%
91	78-92
101	85-102
93	81-94
96	77-97
45	91-106
8	74-89
7	73-92
7	71-93

評価点合計	37	45	30	39	13	12
	言語性	動作性	言語理解	知覚統合	注意記憶	処理速度

82
全検査

	5%	15%	有意差	の評価	5%	15%	
言語性	=	<	動作性	知覚統合	>	>	注意記憶
言語理解	=	<	知覚統合	知覚統合	>	>	処理速度
言語理解	=	=	注意記憶	注意記憶	=	=	処理速度
言語理解	=	=	処理速度				

① 群指数を高いものから順に並べる

知覚統合
98

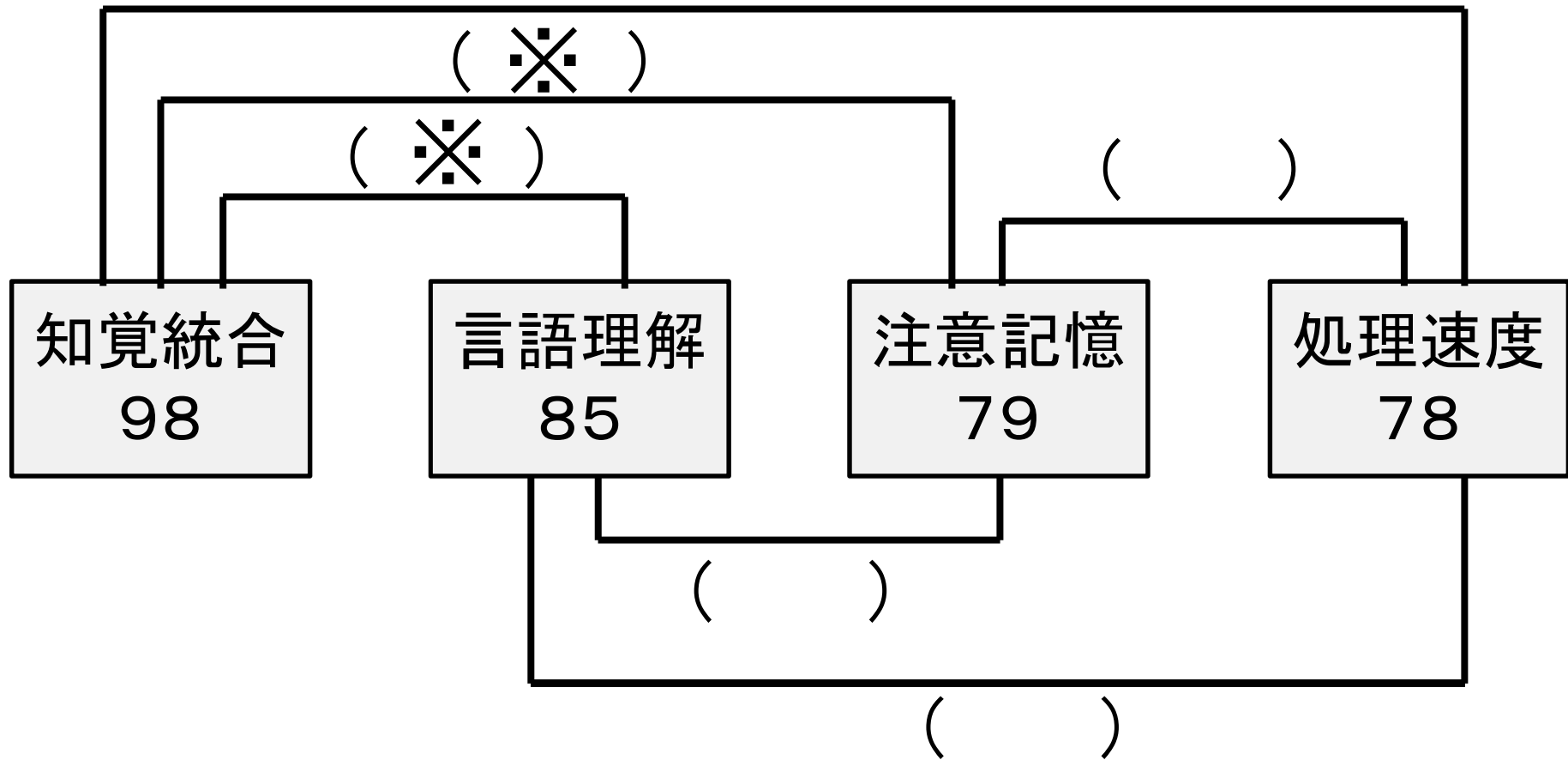
言語理解
85

注意記憶
79

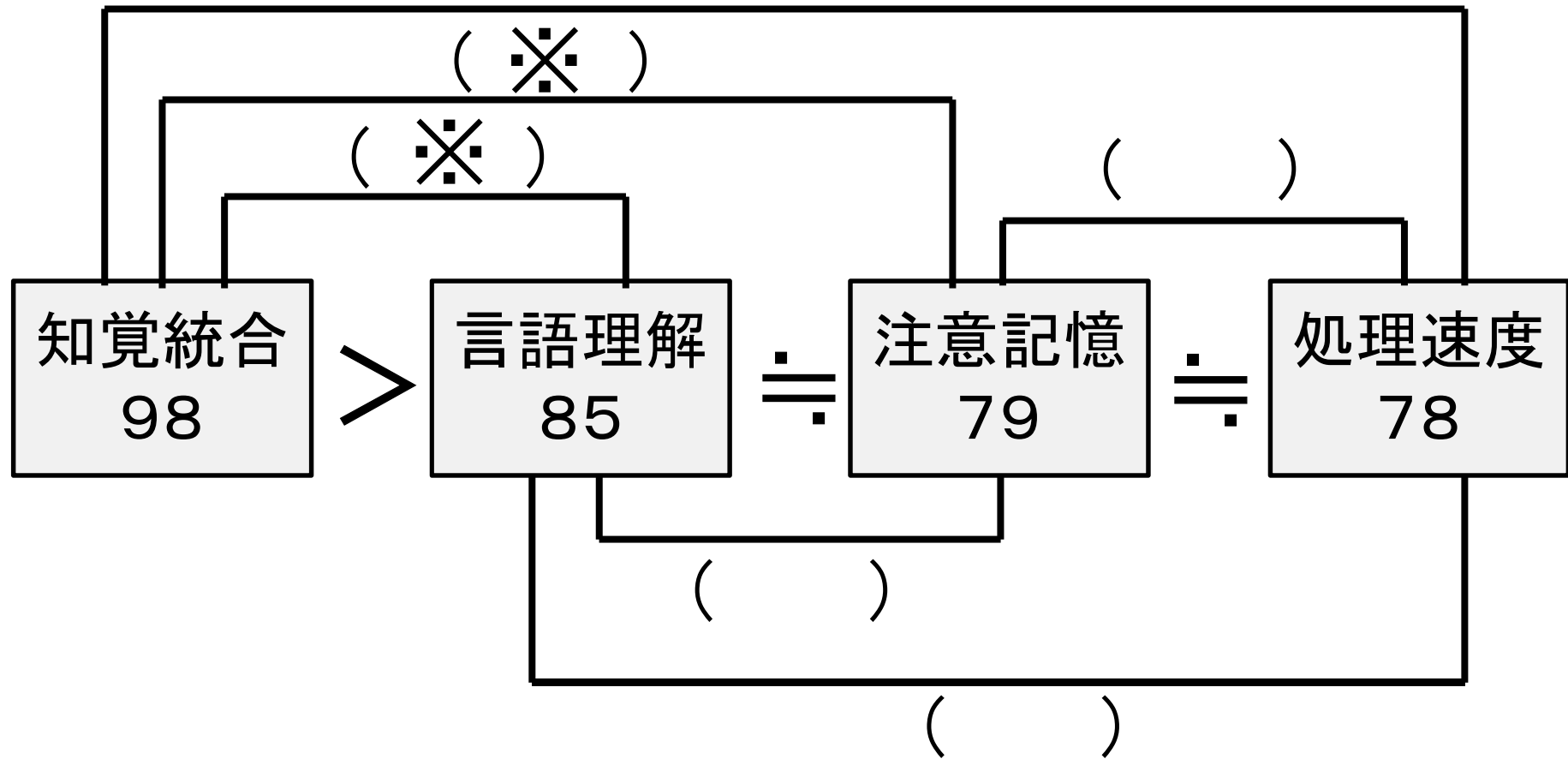
処理速度
78

② 線でそれぞれをつないで、有意差があったところに※を書く。

(※)



③ おとなり同士の群指数を見て、有意差(※)があるところに、>を入れる。ないところは≡を書く。
(※)





Aくんの群指数の分析

知覚統合が得意かも！

＝視覚的な情報を取り込み，各部分を相互に関連づけ，全体として意味あるものへまとめ上げる能力

言語理解，注意記憶，処理速度は苦手かも！

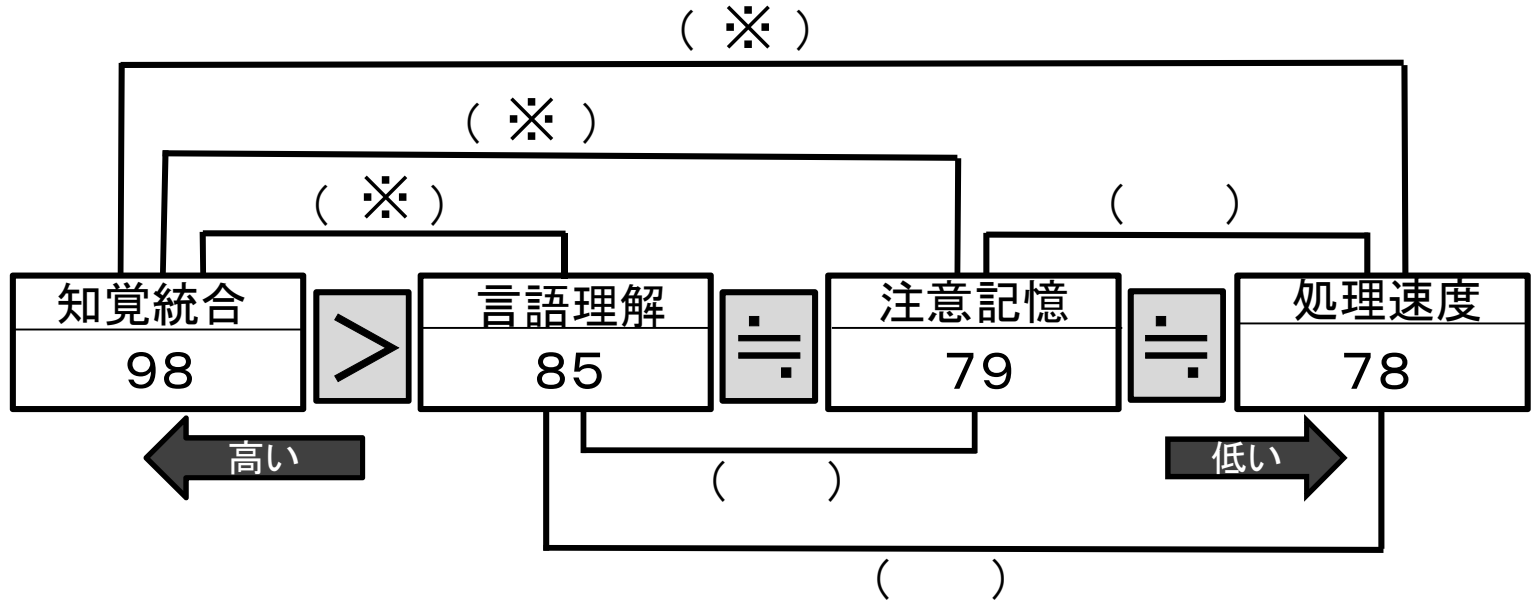
＝言語的な情報や，自分自身がもつ言語的な知識を，状況に合わせて応用できる能力

＝注意を持続させて，聴覚的な情報を正確に取り込み，記憶する能力。数処理能力

＝視覚的な情報を，事務的に数多く正確に処理していく能力

手順③ 群指数

- ①高い順番に並べる。②有意差があったら()に※を入れる。
- ③隣同士をくらべて、有意差があったら□に>を、なかったら≐を入れる。



言語理解 (VC)	言語的な情報や、自分自身もつ言語的な知識を状況に合わせて応用できる能力	知覚統合 (PO)	視覚的な情報を取り込み、各部分を相互に関連づけ、全体として意味あるものへまとめ上げる能力
注意記憶 (FD)	注意を持続させて聴覚的な情報を正確に取り込み、記憶する能力	処理速度 (PS)	視覚的な情報を、事務的に数多く、正確に処理していく能力

【有意差があった群指数を記入】

得意な力(群指数)	苦手な力(群指数)
知覚統合	言語理解 注意記憶 処理速度

分析と日常生活をつなげて解釈する

子どもの姿

板書を写すことにとっても時間が掛かる。



推測される得意・苦手な力

処理速度が苦手

支援方法

- ・ チョークで困ったところのみを書くようにする。
- ・ デジカメでとって、ノートに貼る。

分析と日常生活をつなげて解釈する

子どもの姿

ほぼ毎日忘れ物をする。



推測される得意・苦手な力

注意記憶が苦手

支援方法

- ・ 持ってくる物のリストを作って、○で囲むよう
する。

分析と日常生活をつなげて解釈する

子どもの姿

図形問題が得意。図工が得意。



推測される得意・苦手な力

知覚統合が得意

支援方法

- ・ イラストや写真，動画などの視覚的な手掛かりを用いる。

支援方法

子どもの姿	推測される得意・苦手な力 (群指数)	支援方法
板書を写すことに とても時間が掛かる。	処理速度が苦手。	<ul style="list-style-type: none"> ・チョークで囲ったところのみノートに写す。 ・デジカメで撮って、ノートに貼る。
ほぼ毎日忘れ物 をする。	注意記憶が苦手。	<ul style="list-style-type: none"> ・持ってくる物のリストを作って、○で囲むようにする。
図形問題や図工 が得意。	知覚統合が得意。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな授業で、イラストや写真、動画などの視覚的な手掛かりを用いる。

WISC-Ⅲを読み取ろう！

- ① 練習したい事例を選ぶ。
- ② WISC-Ⅲのプロフィール表を読む。
- ③ ワークシートに記入しながら分析し、支援方法を考える。

※ 分からないときは、声を掛けてください。また、周囲の人と相談してください

※ 支援方法は、いろいろアイデアを出してください。